

2021年2月24日

**バイオエンブラ「DURABIO™（デュラビオ™）」
USDA（米国農務省）のバイオベース製品認証を取得**

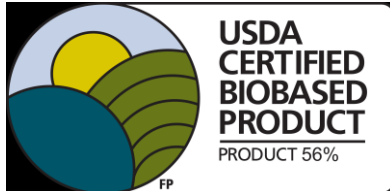
三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「当社」）のバイオエンジニアリングプラスチック「DURABIO™」が、USDA（米国農務省）のバイオプリファードプログラムに基づくバイオベース製品認証を取得しましたのでお知らせします。

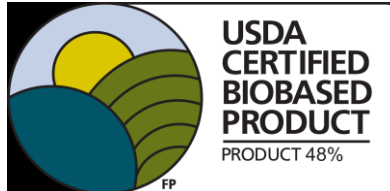
USDA のバイオプリファードプログラムは、バイオマス製品の市場の発展と拡大を支援することを目的としており、民間企業の認証やラベリング制度を運用しています。認証は USDA 認定機関において国際規格 ASTM D6866 に基づいたバイオマス度の試験を行い、規定値を超えた製品に対してラベル使用が許可されます。この度、DURABIO™の主要3グレード（D73 グレード、D63 グレード、D53 グレード）全てがバイオベース製品としての認証を得ました。今回の認証により USDA のバイオベース製品リストに加わったことで、北米を中心に国際的に広く認知されることとなります。

【認証ラベル】

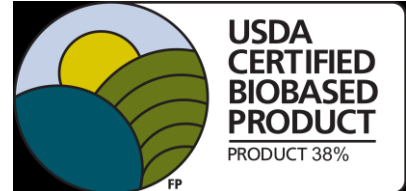
D73 グレード（バイオマス度 56%）



D63 グレード（バイオマス度 48%）



D53 グレード（バイオマス度 38%）



当社が開発した DURABIO™は、再生可能な植物由来のイソソルバイドが原料のバイオエンブラで、耐衝撃性・耐熱性・耐候性などにおいて、従来の一般的なエンブラよりも優れた性能を有しています。また、光学特性に優れ、発色性が良く、顔料を配合するだけで、つややかな光沢のある表面を作ることができる上に、表面が硬くて丈夫なので、擦り傷が付きにくいという特長もあります。なお、ライフサイクルアセスメント解析においても、従来の石油由来のエンブラに比べて、DURABIO™を使用することで温室効果ガスの排出量を削減できることが示されています。

DURABIO™は環境配慮型素材でありながら優れた機能性が評価され、自動車の内外装材や光学フィルムなどを中心に採用されており、近年ではスマートフォン、照明機器、医療機器関連など広い分野に採用が拡大しています。

当社は、今後も DURABIO™をはじめとする植物由来製品の研究開発・用途展開を加速させ、サーキュラーエコノミー（循環型社会）の構築や SDGs の達成に貢献していきます。

以上

お問合せ先
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室
TEL 03-6748-7140